

公明ひらつか

松崎 清子 議員

生活保護費の予算 実態に合った査定を

問 12月定例会の補正予算に生活保護費が約5億円計上されているが、当初予算の査定の内方について、実態に見合った予算査定がされていたのか伺いたい。

福祉部長 社会経済状況により変動があるため、おおむね前年度の決算見込み額程度の予算を措置している。

問 20年度後半から生活保護費が急激に増加していたにもかかわらず、担当部局からの要求額に対し内率を下げたことについての見解を伺いたい。

企画部長 現在の社会情勢では増加傾向が続くと思われるが、他の予算にも影響を与えるため当初予算は従来どおり査定していきたい。

問 本市は、県内でも生活保護の保護率が高変高い。扶助費が上昇を続ける状況について、今後の対策をどう考えていくのか。

企画部長 今までのような財政査定では立行かない。歳出削減へ向けた対応を徹底していきたい。

子育て応援特別手当 執行停止について

問 この手当は、幼児教育無償化への第一歩として期待されていたものである。鳩山政権が判断基準も示さず執行を停止したが、本市

病児・病後児保育の 設置について

問 本市の取り組み状況と考え方について伺う。

市長 これまでも先進市の視察調査を行い、課題の整理・検討をしてきた。今後、施設の確保や医師との連携体制などの課題に取り組んでいきたい。

内部障がい者の対応

問 災害時に備え、オストメイトのストーマ装具を公共施設で保管できないか。

福祉部長 個人の責任での品質管理を条件に、平成22年4月から4福祉会館に専用保管箱を用意し保管する。

総合公園に市民と 協働の交通公園

問 本市は「自転車交通事故多発地域」に位置づけられている。啓発活動の強化の観点から、市民・諸団体等との協働で総合公園内に交通公園を設置できないか。

まちづくり事業部長 現状の利用形態では新たな施設の整備は難しい。総合公園をリニューアルする際には、交通安全教育部門との連携を模索していく考えである。

待機児童対策

問 本市の待機児童数は平成21年11月末現在で2008人だが、潜在需要をどう把握しているのか伺う。

市長 的確な数値をとることは難しい。保育所の新設や増設により290人の定員拡大を計画しているため、23年度にはほぼ解消されるものと考えている。

債権の一元処理と 債権管理条例の制定

問 本市には67億円を超える収入未済額(滞納金)があるが、回収への取り組みを問う。

企画部長 市税では、滞納管理システムの活用による差し押さえの強化、県や県税事務所との連携による大

計画では苦慮している。他市を参考に研究したい。

内部障がい者の対応

問 強制徴収ができる公債権については一元処理、情報の共有化が図れるのではないか。

企画部長 市税に関する差し押さえの後、換価処分の際に余りがあれば国民健康保険税にも充当できるよう対応するなど、現在もケースバイケースで連携を取って徴収している。今後は課題等を整理し、検討していきたい。

「ゆめ手当」に よる家計への影響

問 扶養控除等の廃止案が浮上しているが、家計への影響について伺う。

健康・子ども部長 すべての控除が廃止されると、例えば年収700万円の世帯では、家族構成により増税となる場合がある。

秋澤 雅久 議員

問 年金特別便による年金遡及が生活保護費返還金の中で大きな部分を占めるが、社会保険事務所との連携の中で、何らかの防止策は取れないのか。

福祉部長 ケースワーカーは年金の資格等について十分調査しているが、年金特別便による遡及は把握が困難である。引き続き、受給者とのコミュニケーションを図ることはもちろん、社会保険庁とも機会があれば改善できないか話をしたいと思っている。

債権の一元処理と 債権管理条例の制定

問 債権回収について専門部署を設け、統一的処理を図るべきではないか。

企画部長 効率的で有効な

債権の一元処理と 債権管理条例の制定

問 債権回収については、専門部署の有効と考えるが、一元化の効率性や電算システムの改修費を含めた費用対効果等を十分に検証しなければならぬと考える。

問 事務処理の合理化・効率化を図り、市民に対し収納率向上への姿勢を示し、税負担・受益者負担の公平性を図るためにも「債権管理条例」を制定すべきと考えるが見解を伺う。

企画部長 庁内で組織を編成し検討したが、実現には至らなかった。今後、情報の共有化と円滑な滞納処分に關しては、再度、課題等の整理を行っていく。

債権回収には、専門部署の設置も有効と考えるが、一元化の効率性や電算システムの改修費を含めた費用対効果等を十分に検証しなければならぬと考える。

「平塚市西部福祉会館」 者の指定について

問 配点5点の判断基準、また、最終判断基準は何か。

企画部長 標準の状態を5段階評価での3段階とし、評価項目ごとに特性を踏まえた視点を事前に選定委員に示し採点した。選定委員会は応募団体から提出された事業提案書等から総合的に評価しており、その結果を最終判断基準とした。

問 評価点や見積価格が最も高い団体の選定は適正か。

「救急医療情報キット」 の活用

問 緊急時に有効な個人情報等を記したものを冷蔵庫内に保管し、救命を図る情報キットを提案したい。

福祉部長 現在は、平塚市

返納支援助について

問 65歳以上の高齢者などの運転免許の自主返納者に対し、住基カードの無料化策は、伸び悩む住基カード普及も図れるのでは。

市民部長 高齢者運転免許の自主返納を促進し、住基カード普及につながるなど貴重な提言だが、課題が残る。住基カードの検討課題も含めて研究していきたい。

子育て支援策として 「3人乗り自転車」 のレンタルを

問 「3人乗り自転車」の販売価格は7万円近い。使うのはほんの2、3年なのに高くても買えない。ぜひ平塚市でもレンタルを」という声がある。少子化が大きな問題になっている今、この自転車に安全で安価に利用できるよう対策を講じるべきではないか。

市民部長 子育て世帯への支援等を目的に「神奈川県安心子ども交付金事業」を活用し、22年度から一定期間貸し出す制度の創出に向け、調整を進めている。

日本共産党 平塚市議会議員団

松本 敏子 議員

**21年度事業選択手法
(仕事の点検作業)
について**

問 市は初めて仕事の点検作業を行った。市民の視点に立った点検というが、作業メンバーが市民意見を聞く時間などはあったのか。

企画部長 作業メンバーの視点で評価するようお願いしており、市民意見は恐らく聞いていないと思う。

問 1か月前の広報紙掲載の2日前のホームページへの掲載で、市民への周知に問題はなかったのか。

企画部長 もろもろ課題はあったかと思う。見直せるものは見直し、よりよい方法にしていきたい。

「平塚市西部福祉会館」の指定について

永田 美典 議員

問 配点5点の判断基準、また、最終判断基準は何か。

企画部長 標準の状態を5段階評価での3段階とし、評価項目ごとに特性を踏まえた視点を事前に選定委員に示し採点した。選定委員会は応募団体から提出された事業提案書等から総合的に評価しており、その結果を最終判断基準とした。

問 評価点や見積価格が最も高い団体の選定は適正か。

「救急医療情報キット」 の活用

問 緊急時に有効な個人情報等を記したものを冷蔵庫内に保管し、救命を図る情報キットを提案したい。

福祉部長 現在は、平塚市

返納支援助について

問 65歳以上の高齢者などの運転免許の自主返納者に対し、住基カードの無料化策は、伸び悩む住基カード普及も図れるのでは。

市民部長 高齢者運転免許の自主返納を促進し、住基カード普及につながるなど貴重な提言だが、課題が残る。住基カードの検討課題も含めて研究していきたい。

子育て支援策として 「3人乗り自転車」 のレンタルを

問 「3人乗り自転車」の販売価格は7万円近い。使うのはほんの2、3年なのに高くても買えない。ぜひ平塚市でもレンタルを」という声がある。少子化が大きな問題になっている今、この自転車に安全で安価に利用できるよう対策を講じるべきではないか。

市民部長 子育て世帯への支援等を目的に「神奈川県安心子ども交付金事業」を活用し、22年度から一定期間貸し出す制度の創出に向け、調整を進めている。

日本共産党 平塚市議会議員団

松本 敏子 議員

**21年度事業選択手法
(仕事の点検作業)
について**

問 市は初めて仕事の点検作業を行った。市民の視点に立った点検というが、作業メンバーが市民意見を聞く時間などはあったのか。

企画部長 作業メンバーの視点で評価するようお願いしており、市民意見は恐らく聞いていないと思う。

問 1か月前の広報紙掲載の2日前のホームページへの掲載で、市民への周知に問題はなかったのか。

企画部長 もろもろ課題はあったかと思う。見直せるものは見直し、よりよい方法にしていきたい。

※オストメイト：ストーマを持つ人のこと。人工肛門保有者、人工ぼうこう保有者ともいう。
 ※ストーマ：手術によって便や尿を排せつするために腹壁に造設された排せつ孔のことをいい、消化管ストーマと尿路ストーマがある。